令和元年１０月１８日
東北地方整備局
鳴子ダム管理所

鳴子ダムの洪水調節効果について
１０月 ４ 日（台風 18 号）
１０月１３日（台風 19 号）

鳴子ダムでは、１０月４日と１０月１３日と２週間連続して洪水に見舞われました。

これら洪水時に行った特別防災操作により、江合川下流の水位低減が図られ、内水排除にも効果を発現したと思われます。

※鳴子ダムの様子は、鳴子ダムホームページ「鳴子ダムライブ映像」でもリアルタイムで見ることが出来ますので、是非ご覧ください。
《 鳴子ダムホームページ http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/ 》

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　鳴子ダム管理所
所　　長　佐藤　徳男
管理係長　金津　茂人
〒９８９－６８０６　宮城県大崎市鳴子温泉字岩渕２－８
TEL 0229-82-2341　FAX 0229-83-3855

鳴子（なるこ）ダムは「江合川河川公園」の浸水被害を防止しました

令和元年10月4日洪水
（台風18号による降雨）

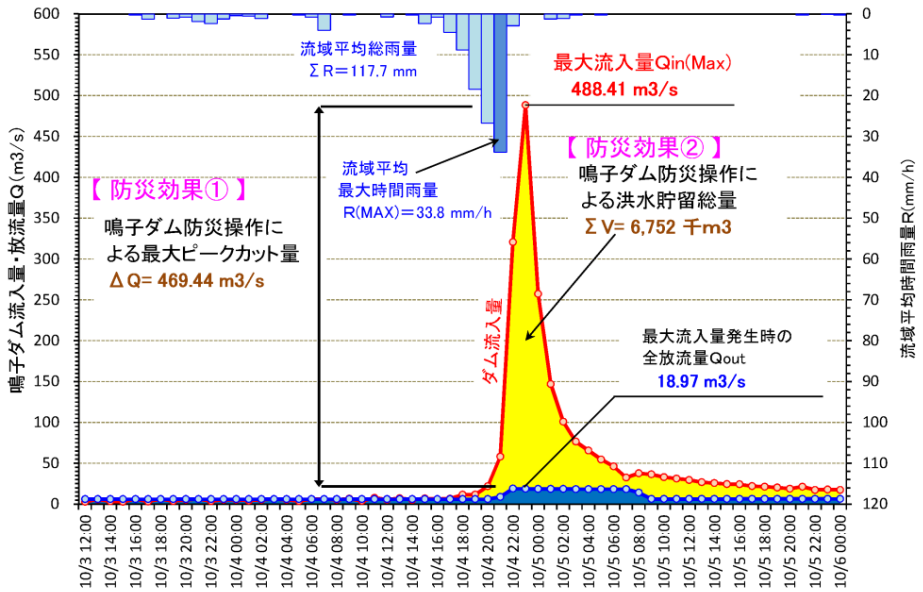
【鳴子ダムは、周辺住民が利用する運動施設の浸水被害防止に努めました】

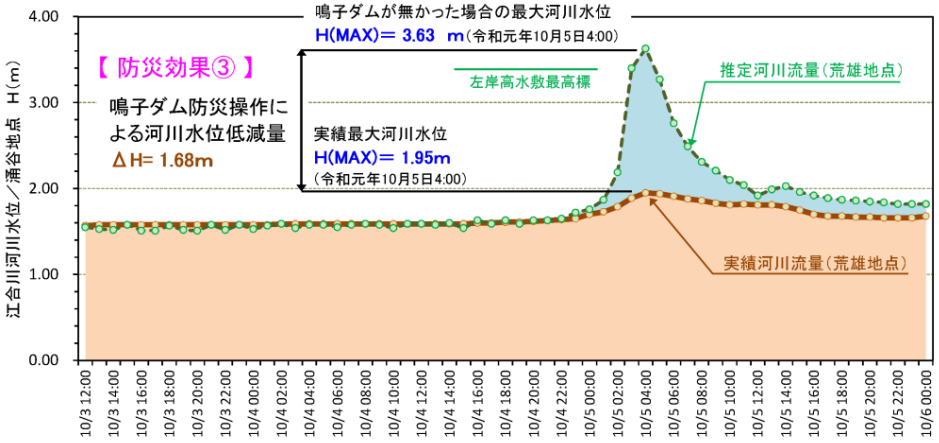
（注意事項） 今回発表されている観測値は速報値です。

◇台風18号の影響で鳴子ダム上流域では最大時間雨量34mm/h、総雨量178mmの豪雨が発生しました。

◇鳴子ダムは防災操作を実施し、荒雄地点※の河川水位を最大1.7m低減させる防災効果を発揮しました。

◇**江合川河川公園内のテニスコート及びグランド施設の浸水被害を未然に防止しました。**





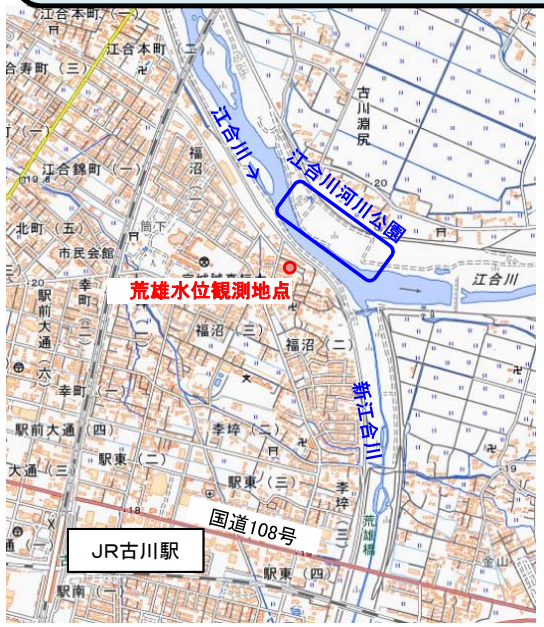
令和元年10月4日洪水 ハイドログラフと江合川(荒雄地点) 河川水位履歴図

防災操作 【治水の効果（洪水被害防止効果）】

ダムへの最大流入量488.41m3/秒に対して放流量を18.97m3/秒とし、約470m3/秒の低減を図りました。これにより、「荒雄」地点※1で河川水位を約1.7m低減しました。**もし鳴子ダムが無かった場合、多くの市民により利用されている「江合川河川公園※2」内のテニスコートやグランド設備が、洪水流による土砂堆積等で使用出来ない状況となっていた可能性があります。**

出水の概要（10月4日～5日）

- 総雨量：177.7 mm（流域平均）、
- 最大時間雨量：33.8 mm/h（10月4日21時）
- ダム最大流入量：488.41 m3/秒（10月4日22時40分）

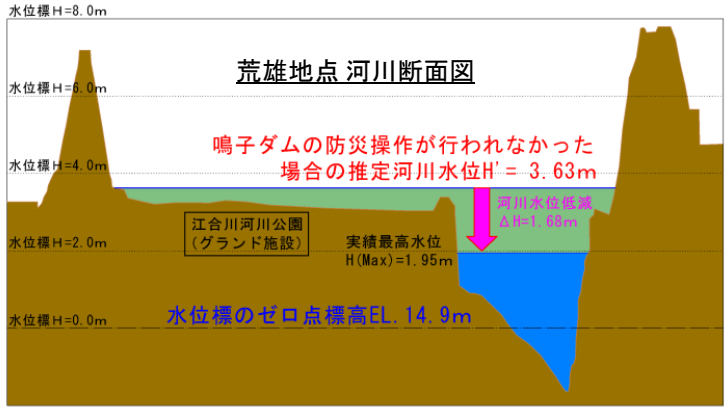


荒雄水位観測地点の概略位置

※1；「荒雄」水位観測地点；宮城県大崎市福沼地内にある江合川の河川水位を観測する施設です。

※2；江合川河川公園；宮城県大崎市渕尻字宮田地内（江合川左岸）にあり、市民が利用するテニスコートやグラウンド施設があります。





※上図は、国土交通省『川の防災情報（荒雄地点河川断面）』を加工して作成しました。

鳴子（なるこ）ダムは下流河川の内水排除に貢献しました

令和元年10月13日洪水
（台風19号による降雨）

【鳴子ダムは、特別防災操作を実施し、下流河川の水位低減に努めました】

（注意事項） 今回発表されている観測値は速報値です。

◇台風19号では最大時間雨量16mm/h、総雨量117mmの雨が発生しました。

◇『特別防災操作』を実施し、約300m³/秒の洪水に対して放流量を約30m³/秒に抑えました。

◇通常操作では放流量を最大250m³/秒まで増量する所、通常の約１割までとし下流の内水排除に寄与しました。

